

倉田一郎 くらた いちろう 民俗學者、小説家。明治二十九年十月、二十八日富山縣生れ。昭和二十一年五月、二十日没（九六―四七）。縣立工業學校の學ぶ。のち上京して小説を著すなど文學活動も、昭和九年柳田國男の門に入りて民俗學研究に轉じた。

著書『小説の創作と技巧』（大正十四年十一月十八日至上社）『新學藝叢書』(一)、『國語と民俗學』(昭和十七年七月、二十日青磁社)、『日本文化提要・第一部』（合著・國際文化振興會編、昭和十九年二月五日國際文化振興會）、『郷土史研究の調査と方法』（合著・日本歴史地理學會編、昭和十九年六月十日地人書館）、『農と社會學』（昭和十九年七月十八日六人社、生活社）等。